

職員の不祥事に対する

町民への信頼回復と再発防止について

『緊急質問！』



小山 暁 議員

6月定例議会最終日(21日)冒頭に、小山 暁議員から緊急質問があり、緊急事態発生にともなう緊急提言や再発防止策及び職員の綱紀肅正に向けて執行部の姿勢を正した。

問 今回又、発生した職員の不祥事は、町民の期待を裏切ったばかりでなく、地方公務員としての信用を大きく傷付け、失墜させた責任は重く、町民の不信感は募るばかりである。今後、町民への信頼回復と同時に、再発防止のための抜本的な綱紀肅正について、どのような対策を考えているのか伺いたい。

答 このたびの不祥事に対し、大変心苦しく申し訳ないと思っている。一日も早く信頼回復に向けた取り組みを行うため、緊急幹部会を召集し、各課での公金取り扱いや各種団体等の通帳がある課のチェック体制の改善策を指示するなど職員への

周知徹底に努めている。信頼回復を取り戻すために、緊急幹部会を召集し、各課での公金取り扱いや各種関係団体等の通帳がある課のチェック体制の改善策を指示しているところである。今後は、各課毎の定期的なヒアリングを実施し、不祥事防止に努めたい。

問 これまで過去に発生した不祥事のたびに、私は一般質問の中で綱紀肅正の徹底を訴えてきたが、町長は、そのたびごとに『公務員としての自覚を認識させ、特に公金取り扱いについては、細心の注意を払うようダブルチェック体制で再発を防止したい』と答弁されてきた

が、今回もそれが機能せず再発した結果をどのように受け止めているのか伺いたい。

答 甚だ遺憾に思うとともに責任を痛感している。

幹部が親なら、部下は子どもで、まず親からその姿勢を正すべきだという思いから、幹部自ら部下に対して、信頼回復のための取り組みを行うよう指示しているが、それでも不十分な場合は更に指導を強化していきたい。

問 今回の事件を肝に命じ再発防止に取り組むことが、町民の付託に答えることになり、信頼回復につながるものと確信する。現在、執行部では昼夜を問わず再発防止政対策に真剣に取り組ん

でもらっているが、その取り組みが単なる一過性に終わらないよう、常に職場の危機管理のひとつとして、しっかりと受け止め現場での指導を徹底してもらおうようお願いしたい。なぜならば、あつてはいけない職員の不祥事が、合併してから現在までに、すでに3人が処分されている。まさに、異常事態であり、弁解の余地はない。今後は、職員全員が一丸となつて、町民への信頼回復と再発防止に向けて、真剣に取り組んでもらいたいと考えるが、町長の決意を伺いたい。

答 今後は、幹部職員問わず、全職員の教育を徹底していきたい。